

吉野川を釣る！【番外編】



(愛媛県愛南町由良半島付近)

こんにちは、さすらいの釣り人系河川管理者のNです。趣味のルアーフィッシングを通じて、吉野川流域の素晴らしさを皆様にお伝えできればと思います。

私は、ルアーでいろいろな魚を釣ることを趣味としていて、現在までに300種ほどの魚（淡水・海水・軟体動物含む）を釣っています。

最近かなりマニアックな釣りに終始しておりますので、今回は徳島を離れ、年に1・2回釣りに行っている、愛媛県愛南町由良半島沖のルアーによる船釣りをご紹介します。

だいたい毎年、ゴールデンウィークと夏に愛媛県愛南町の由良半島沖にレンタルボートで釣りに行っておりまして、今回は夏に釣行したときのことを報告します。



夏休み期間は、台風が発生することは少ないのですが、予定をしていた時期に台風が発生し、九州をかすめるようなコースを取りました。当然、海は大荒れで、本来行きたかった由良半島先端は到底無理で、湾内で小物釣りしかないかなという感じでボートを借る家串港に向いました。（※ボートは、早い段階から予約をしているので少しくらい荒れているくらいでは、予約を取り消せません。）

家串港から出港すると湾内の港の少し沖でも波が大きく、湾内を出ることすら無理な状況でした。早々と沖に出ることをあきらめ、湾内でサラシ狙いのヒラスズキ釣りをすることとしました。

上の写真のようなところを11cmのミノで撃っていきます。すると当たりはあるのですが食いが甘く、なかなかヒットに結び付けられません。

隣で見ていた兄が、「ウネリが強いからヒラスズキが追い切れていないので、止めるくらいのつもりでリトリブすれば?」とアドバイスしてくれます。

アドバイスに従って、ごくゆっくりリトリブしていると小さいながらヒットさせることができました。

操船を交代し、兄も釣ったところでポイント移動し、塩子島に向い、次は鯛狙いで鯛カブラを試してみました。



50cm少し小さいですが、苦勞の末仕留めたヒラスズキ



自己新記録のオオモンハタ

すると、十数投目に根掛りのような大きな当たりで、何か来ました。首を振る様子がないので鯛でないのは分かりますが、凄い重さで、よく引きます。深いこともありかなりの時間が掛かって上がって来たのは、この海域では定番の底物「オオモンハタ」でした。

なかなかサイズもよく自己新記録の52.5cmと大満足な結果でした。

午後からは、少し波も落ち着き、南の三ッ畑田島までは何とか行けそうな感じになってきたので、大きく移動し、水深60mくらいにある漁礁を狙います。

GPSで大体の場所まで行き、そこで魚探を掛けポイントを探していきます。すると小魚のいるよさそうなポイントがあったので、船を止め、100gのジグで底を探っていきます。

何度かワンピッチジャークで探っていると大きな当たり、これは青物と思い慎重に巻き上げていきます。(※ワンピッチジャーク：ハンドル1回転に1回しゃくる方法。)

しかし、10mぐらいで引きがなくなり、重いだけとなってしまいます。

兄から「もしかしたら、エソかも」といやな予想が！

水面まで来ると「細長い茶色い物体」が見えてきました。

そうです。やはりワニエソでした。それも65.8cmもある巨大なやつです。

まあ、変な魚好きな私としては、ワニエソの記録の大幅更新で、そこそこ嬉しかったです！



こちら自己新記録のワニエソ



サイズの割によく引いたハマチ（プリの子供）

その後もいろいろとポイントを探り、三ッ畑田島付近の浅いところでは、ナブラも発生し、数匹のハマチもものにすることができました。

ただ、0.8号タックルを使っていたため、時間が掛かりあまり数を伸ばすことはできませんでした。

ここのハマチは活性が高く、トップウォーターにも反応し、楽しい釣りを楽しむことが出来ました。

大体満足し、お土産も十分確保出来たので、これからが私たちの本当のお楽しみです。

湾内の港に近い浅いところまで戻り、PE0.5号タックルに持ち替え、珍しい魚釣りに突入です。水深は2m～20mぐらいに落ち込むところを狙います。ジグは、本当にかんばるときは5g以下を使いますが今回は、5～10gとウルトラライトジギングといったところでしょうか。

釣り方は、適当に投げて着底後3回くらい連続でしゃくり、また沈めるということを続けるだけです。当たりは、しゃくって沈めるときに来ることが多いので、糸ふけをなくして、当りに集中することが必要です。

狙う場所は、岩がごろごろしているところとか、川が流れ込んでいるところ、いろいろな排水路等の変化のあるところです。

また、季節は夏から秋がいろいろな魚が浅場に上がって来ているので釣れやすいです。

今回も、そんなところを中心に探ってみましたが、一投目から当たりがバンバン出て、1投で1匹釣れることが多かったです。また、ダブルヒットもありました。（※ダブルヒット：前後の針に両方掛り2匹釣れること。）

そうそう、沢山釣るコツは、同じところを狙わないことです。ルアーを投げると周囲5mくらいから魚が、集まっている感じで、少なくとも5m以上はずらさないと当たりは来ません。



まあまあ珍しいヨコスジフエダイ



ルアーでは、なかなか釣れないナガサキスズメダイ



映画「ニモ」で有名なクマノミ



オオモンハタのダブルヒット



南四国では代表的なエサ取りクロホシイシモチ



最近、ハタ類に押され少なくなっているカサゴ



想像ですが、釣られると周囲の魚にはわかるようで周囲に集まっていた魚はよほどのことがない限り、口を使いません。

今回は、オオモンハタとネンブツダイとササノハベラが良く釣れましたが狙いの新魚種は釣れませんでした。やはり場所を大きく変えるか、狙い目（砂地、荒磯）を変える必要性を感じました。



南四国では代表的なエサ取りホシササノハベラ



ルアーではなかなか釣れないハマフエフキ（タマミ）



成長すれば2m弱になるマハタ



成長すれば2m弱になるカンパチ



塩焼きで意外と旨いイトフエフキ



南方系のホシノエソ



<タックルデータ>

ロッド：メバルロッド8.5f（約2.6m）

ショアジギロッド10.6f（約3.2m）

ジギングロッド6.0f（約1.8m）

鯛ラバロッド6.0f（約1.8m）

リール：ダイワ・シマノ2000～5000番

ライン：PE0.3～2号

リーダー：フロロカーボン1～7号

ルアー：メタルジグ5～100g、ミノー、ポッパー、鯛ラバ



今回は、番外編ということで、私がここ10年くらい通っている愛媛県南予の由良半島沖のルアーによる船釣りをご紹介しました。

今回は、荒天のため沖磯には行けませんでした。が、沖に行けば1m以上のカンパチやヒラマサ、ハタ類が狙える楽しい場所です。

また、行くたびにアカウミガメや、色とりどりの魚が見られ、釣り以外にも楽しみがいっぱいあるところです。

皆さんも見たことのないような魚を目指して釣りに出かけてみて下さい。

今回は吉野川での種数狙いとは関係ありませんが、**15魚種ゲット**できました。次はどこで何を狙おうかな？



今回の獲物。クーラーが小さかったため他の魚はリリースしました。